



# 三条北ロータリークラブ週報



例会日 2011. 5. 10 累計 No.1173 当年 No.39



例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:[north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org)

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:レイ・クレンギンスミス  
地区ガバナー:東山昕也(高田RC)  
三条北RC会長:小林繁男  
三条北RC幹事:西村 護  
三条北RCSAA:岡田大介

## 会長挨拶:小林繁男会長



皆さんお久しぶりです。連休はどのように過ごされたでしょうか。

私は山歩きをしたり、村松の桜を見に行ったり、孫を連れて出かけたり、春の景色や、花を堪能しました。長岡の丘陵公園は里山歩きを楽しみました。秋にまた言ってみたくと思っています。

今日は移動例会ということで素晴らし施設を使わせていただき、例会を行います。後ほど校長の佐藤様より卓話もお願いしております。よろしくお願いたします。

## 幹事報告:西村 護幹事



・東山ガバナーより

ロータリーレートのご案内

5/1~1ドル82円(現行80円)

・越後魚沼RCより チャリティーコンサート

「2011年春の宵シャンソンの夕べ」のご案内

日時 平成23年5月15日(日)18時開演

会場 魚沼市小出郷文化会館 大ホール

・いわき平中央RCより この度の震災による原子力被害状況への冷静な判断を頂き、冷静な判断の基、適切な行動のお願い。が届いています。

・ローターアクト委員長より 地区協議会登録のご案内

日時 2011年6月4・5日

会場 メイワサンピア(新潟市西区)

・三条市長より 震災被災者への義援金の御礼

・「育子からの手紙」上映委員会より 後援・協賛のお願い

## 次年度石川一昭幹事より

家庭会合のご案内を配布してあります。5月23日~26日の4日間、行います。確認の上、出欠及び期日の変更希望を事務局まで提出してください。



## 委員会報告:社会奉仕石川友意委員長

4月23日に開催しました「黒川伊保子・子育て講演会」はお陰様で無事終わることが出来ました。当日の入場者数は予定したよりも少なかったのですが、素晴らしいお話だったと思います。ご協力ありがとうございました。



### ■出席状況

・本日の出席:69名中44名  
(内記帳 8名)

・先々週の出席率:69名中53名  
78.26%(前年同期66.26%)

・4月の出席状況:会員数69名  
例回数4回  
平均出席率80.44%  
前年同期72.81%

■本日の行事:職業奉仕移動例会  
卓話「人材について考える」

■本日のゲスト:  
中小企業基盤整備機構関東支部  
中小企業大学三条校  
校長 佐藤 勉 様

### ■本日の記帳受付:(敬称略)

三条RC 菊池 渉、斎藤弘文  
五十嵐晋三、丸山行彦  
小越憲泰、熊倉昌平  
加藤紋次郎

三条南RC 野島廣一郎、西巻克郎  
吉井正孝

三条東RC 小林昭雄

### ■先週のメイクアップ:(敬称略)

5月2日三条南RCへ 米山キクエ  
石黒隆夫、石川勝行、落合益夫  
中條耕二、高橋 彰雄

8日野球部試合  
斎藤 正、中條耕二、瀧岡 茂  
岡田大介、小林繁男、西村 護  
武田恒夫、外山裕一、駒形 実  
佐藤秀一、丸山 勝、石川一昭  
佐藤義英、今井克義

### ■本日のメニュー:

サン・ミール特製お弁当

■ロータリー財団BOX：10日現在累計266,000円

■米山奨学BOX：10日現在累計386,000円

■ニコニコBOX：19日現在累計873,200円

\*本日のゲスト佐藤 勉様よりクラブからの御礼を全額、ご協力頂きました。

## 本日の行事：会場：中小企業大学 三条校



### 卓話「人材について考える」

中小企業基盤整備機構 中小企業大学校 三条校 校長 佐藤 勉 様

今日はお忙しい中お越し頂きありがとうございます。

三条校では、中小企業の経営者・管理者・管理者候補などの方々を対象に、経営上の様々な課題を自ら考えて工夫し克服していけるよう、経営管理及び能力開発の分野で、実践に活かせる知識や手法を習得できる研修を提供しています。新潟県、長野県の信越地方を中心に、多くの中小企業の方が受講されています。

人材とは（1）

・経営資源の4要素

「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の一つとのとらえ方 → ヒューマン・リソース

・人こそ最大の資産（P. F. ドラッカー『マネジメント』）→ あらゆる資源のうち人が最も活用されず、其の潜在能力も開発されていない。人を問題、雑事、費用、脅威として扱っている

人材とは（2）

・「人は資本である」との捉え方 → ヒューマン・キャピタル

→ 人は売り上げをもたらす。人はコスト削減に努める財務諸表に表れないノウハウを持つ

⇨ 利益の源泉（利益は事業継続の条件）

なぜ人材は必要なのか（1）「はたきやすい職場環境に関する調査」より

・仕事をやり遂げたときの達成感、自分がした仕事に対する社内の評価、仕事を通じた自己表現、自分の成長

なぜ人材の育成が必要なのか（2）「人材マネジメントに関する実態調査」

・計画的なOJTに力を入れて実施している

・ジョブローテーションに力を入れて実施している

・Off・JITに力を入れて実施している

・自己啓発に対する支援に力を入れて実施している

研修は役に立たない？（1）「研修は役に立たない」という誤解はなぜ生じるのか

・研修を受講させる目的を伝えていない

・研修後に成果を発揮させる機会がない、何か取り込んでも芽を摘んでしまう。或いは小さな成果でも評価を与えない。

研修は役に立たない？（2）

・理論と実際は違うと決めつける

・自分のところは他と違い、特別であるとの思いこみがある

「研修」を経営の成果に繋ぐには

・研修を受ける都度、目的を伝える

・研修と仕事のチャレンジを上手にセットする

・変えること、変わることを恐れない

・一つのテーマに複数名を受講させ、受講後の取り組みで、社内に仲間がいない事態を避ける

「研修」を上手に活用している事例「成長企業にみる人材育成」から

・オタフクソース株式会社（広島市）

・株式会社コメントカトウ（愛知県）

・株式会社諏訪田製作所（三条市）

まとめ

・学びを通じて「気づき」が重要

- ・自ら考えて行動する人の集団(学習する組織)に
- ・新潟県は、人材育成に熱心なところであり、まだまだ伸びしろがある。  
ご静聴いただきありがとうございました。



鶯のさえずりに迎えられ建物にはいとホテルのようなロビーから食堂へ。  
例会は2階(実は3階)の教室で



### HOT NEWS

去る5月8日見附市民野球場にて初戦が開催されました。見附市60エイジチームとの戦い。(60歳以上で参加資格あり)40名ほどのチームでした。三条北も全力で臨みましたが初戦は飾れず涙を吞みました。これから再度練習を重ね2回戦に臨むことで当日解散しました。



我こそはと思う方は是非参加して下さい。



### 5月のお祝い

誕生日			結婚記念日					
会員	夫人		早川	瀧雄・町子	2	梨木	建夫・三枝子	20
丸山 正男	13	13	樋口	金占・トシ	4	西村	護・智恵子	31
羽賀 一真	26	13	中條	耕二・敦子	5	吉田	文彦・由美子	31
武田 恒夫	27	20	石丸	孝行・ノリ子	12	本田	芳久・真由美	31
			坂内	康男・智恵	15			



## 三条北ロータリークラブ会員企業紹介

「ロータリーの会員は、その一人ひとりが、自分の職業とロータリーの理想とを結ぶ環である(ポール・ハリス)」

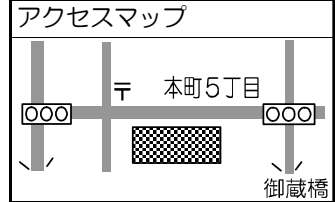
会員同士が会員企業の職業分類を知ることにより、会員の親睦、相互扶助、職業奉仕にこの「企業紹介コーナー」がお役に立つことができれば幸いです。



### ■会員事業所紹介 ●山本 賢会員 (会員選考)



■事業所名	社会医療法人 嵐陽会 三之町病院
■職種分類	病院経営
■住所	〒955-0071 三条市本町5-2-30
■TEL.	0256-33-0581
■FAX.	0256-32-1896



### 👏 こんな仕事をしています

三之町病院は昭和31年新潟県三之町の地名にちなみ、三之町診療所として開設されました。その後、労災指定、救急告示を受け主に急性期医療の病院として現在、神経内科、脳神経外科などの神経疾患を主体として災害外傷や整形外科系疾患及び一般の内科、外科、泌尿器科、眼科、歯科の診察を行っております。「私たちは信頼される医療を提供し地域の人達のために貢献します。」を理念とし、地域の皆様に愛され、信頼される病院をめざして平日はもとより休日・夜間における救急体制の向上、看護体制の充実に取り組んでおりますがこれからもより良質な医療の提供と心のこもった患者様サービスに積極的に取り組んでまいります。

### 病院全景



### 🚶 病院理念と基本方針

- 1. 急性期・回復期の医療を実践します。
- 2. 神経系疾患の医療と救急医療を充実します。
- 3. 医療福祉施設との地域連携を密にし地域医療の発展に努力します。

当病院は神経内科・脳神経外科などの神経疾患を主体として災害外傷や加齢による整形外科系疾患及び一般の内科・外科・泌尿器科・眼科疾患の診察に積極的に取り組んでおります。

### 救急患者の受け入れ



### 看護師候補生に囲まれて

向かって左からネッシーさん(29歳)、ゲンマ君(26歳)、シスカさ(28歳)。皆さん笑顔の素敵な若者達です。  
山本先生はEPA(経済連携協定)に賛同しこれまでインドネシアから看護師候補生を4名、フィリピンから同1名を受け入れています。内2名が言葉の壁を乗り越え難関の国家試験に合格、新聞、マスコミで大きく取り上げられました。



### 山本先生の原点

山本先生の原点は理事長室に掲げられた三之町病院の理念、心得が書かれた一枚の額の中にあります。その「研鑽・献身・感動」の精神が今も三之町病院の礎(モニュメント)として病院の入口を見守っています。  
新潟県湯沢町、千葉県柏市、群馬県渋川市在住の知的障害施設の皆さんから寄贈されたモニュメント。



### 山本先生の独り言

日本の医療は資格者(医師や看護師)不足で大変な状態だ。海外の看護師候補生にも頑張ってもらって、もっともっと喜んでいただける医療を行う。でも本当は医者と仲良しにならない方が皆さんは幸せだ(健康に過ごしてください)。

◆山本先生のPCに向かう姿には、ロータリーの例会で見るやさしい顔とはちがう強い思いと迫力がありました(高森)。